

明治大学農学部が農作業体験等を通じて、地域住民と交流

<石川県>

市町村・集落の名称	羽咋郡宝達志水町
協働の相手（企業や大学等）の名称	神奈川県川崎市多摩区東三田 1-1-1 明治大学農学部
仲介者・コーディネーターの名称	戦略経営研究会 代表 津田 栄
協働のポイント	学生の受入れ農家の選定や農家民泊の依頼について、既設の組織（町農業振興協議会）を通じて、受入体制を確立するのに苦慮した。
協働のきっかけ・経緯	平成17年：2名の学生が研修に来庁 平成19年8月：から大学側から本町での農業体験研修を開始 平成20年9月：県畜産総合センターでの研修を取り入れる。
取組の具体的な内容	明治大学農学部の学生14名（H19年）が本町の農家にて農作業を実施。 農家に民泊し、農家から生活や作業の苦勞などを聞くほか、町との連携により「食育」などの研修も行っている。
農村地域への効果	学生を受け入れたことにより、町が活性化している。
都市部の主体（企業や大学等）への効果	学生側は、農作業等を通じて幅広く知識を得られる。
仲介者等の役割	町と大学との協働を円滑に実施できるよう学生への呼びかけや組織の育成を図った。
今後の課題	・体験しやすい環境整備と受入れ農家の確保
関連事業（国・都道府県等）	なし